

オンラインチケットストア

京都芸術劇場では、2009年1月より、劇場ホームページにてオンラインチケットストアを開始しました。このサービスでは、ホームページにて舞台芸術研究センター主催公演(一部)チケット購入が可能になるほか、公演の最新情報をお伝えするメールマガジンもご利用いただけます。

※ご利用には会員登録(無料)が必要です。

※学生・ユースチケットは、オンラインでの取り扱いはありません。

◎登録はこちらから <http://www.k-pac.org/ticket.html>

◎携帯 <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

登録

お名前・電話番号・ご住所などの情報を登録していただけます。登録後、IDとパスワードをお知らせします。

チケットご予約・ご購入

オンラインチケットストアへアクセス

パソコンから <http://www.k-pac.org/ticket.html>

携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

ログイン

取得したIDとパスワードでログインください。

お支払い・チケット受け取り方法の選択

(お支払い方法)

■クレジットカード ■セブンイレブン店頭での現金お支払い

■劇場チケットセンターでの現金お支払い

(チケット受け取り方法)

■セブンイレブン(手数料158円/1件、発券料105円/1枚)

■郵送(手数料400円/1件) ■劇場チケットセンター窓口

京都芸術劇場友の会

京都芸術劇場(春秋座・studio 21)は、大学内に立てられた劇場にふさわしく、古典から実験的な公演まで、幅広いジャンルの催しが行われております。

《京都芸術劇場友の会》では劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や専攻販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【会員特典】

- ① 友の会会員には情報紙「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)および公演チラシを定期的にお送りいたします。
- ② 京都芸術劇場チケットセンターで、会員番号によるチケット予約ができ、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて、お買い上げいただけます。(公演によっては、予約、割引ができないものもありますのでご了承ください)
- ③ 当劇場の指定するチケット入手が困難な公演については、会員番号による先行販売をご利用いただけます。
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどのご案内をいたします。
- ⑤ 有効期限は一年です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

友の会 割引特典の一例

2009年6月24日(木)『鴨川ホルモー』 一般6000円 シニア5500円→会員様5000円

その他、多数公演がお買得になります!

【友の会 入会方法】

劇場チケットセンター窓口にてお申込

劇場チケットセンターにある申込書に必要事項をご記入の上、年会費2000円をお納めください。後日、会員証を郵送致します。(窓口受付/月-金 10:00-17:00)

Eメールにてお申込 (<http://www.k-pac.org/society.html> をご参照ください。)

- ① 件名を【友の会 新規入会申込】として頂き、本文に住所・氏名・電話番号・FAX番号・生年月日をご記入の上、劇場チケットセンター ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp までお送りください。
- ② 劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。
郵便局で青色の振込用紙にご記入下さい。(振込み手数料別途100円程かかります。)
[口座番号] 00970-7-17651
[加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場 [通信欄] 友の会 新規入会
[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)
- ③ 入金確認後、会員証をお送りいたします。
※お電話・FAXでのお申込も受け付けております。

【お問い合わせ】

京都芸術劇場チケットセンター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 Tel.075-791-8240(平日10:00-17:00)

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075 791 8240

営業: 平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
京都芸術劇場 春秋座・studio 21

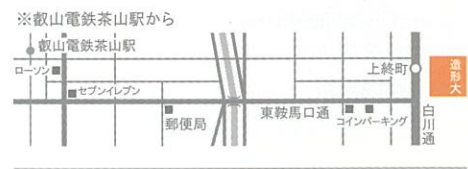
606 8271 京都市左京区北白川瓜生山2 116

tel. 075 791 9437 fax. 075 791 9438

<http://www.k-pac.org/>



劇場 オンラインチケットストア



◎ JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

◎ 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◎ 京阪電鉄出町柳駅から
叡山電鉄に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター

vol.13

発行日—2009年6月1日

京都芸術劇場ニュースレター

6-10月号 vol.13

2009年6月26日(金)—7月11日(土)

『京都におけるフランス演劇月間』

La France à Kyoto – domaine du théâtre



photo: Elisabeth Carecchio

2009年6月26日(金) 18:00
『アヴィニオン演劇祭の60年』上映会

2009年6月30日(火) 18:30
コメディ=フランセーズ・プレゼンツ
『神の曲芸師』

2009年7月11日(土) 14:00
『プラステッド』

◎関連企画 会場—京都造形芸術大学 映像ホール

公開講座 映像とトーク 2009-2010
渡邊守章の仕事
テキストと身体—その演出作品を通して
2009年6月9日(火) 16:30

ジャン・ラシーヌ作
『悲劇フェードル』パリ日本文化会館 1999年
料金—無料 ※要事前申込
ゲスト—後藤加代(俳優)

2009年7月7日(火) 16:30
アルフレッド・ド・ミュッセ作
『ロンザッチョ』銀座セゾン劇場、1993年
ゲスト—服部基(あかり組代表、照明家)

2009年6月23日(火) 17:00
渡邊守章による大学院公開講座
『古典と伝統—一日仙間の舞台芸術の
受容について』[映像とトーク]
料金—無料 ※要事前申込
映像は渡邊演出のラシーヌ『アンドロマック』、
ロスタン『シラノ・ド・ベルジュラック』等

グローバル下の現在、日本以外の舞台
芸術の公演を見る機会は、人によって
異なるとはいえ、増えているはずで
す。しかし、それぞれの国や地域の伝統や
現在における変革を、ある纏まりの
もとに見る機会は、残念ながら少ないと
言わざるを得ません。

今回、京都造形芸術大学舞台芸術研
究センターでは、フランスの関係諸機
関のご協力を得て、「京都におけるフラ
ンス演劇月間」を開催することとなり
ました。

世界の舞台芸術の記憶においても、
フランス演劇は、十七世紀における「古
典主義演劇」の成立と、更にはそれを後
世に継承しようとして設立された、公
式の劇場にして劇団である「コメディ
=フランセーズ」の誕生によって、ヨー
ロッパ演劇の先端を切っていた時代は
長いのです。

十九世紀以降の、いわゆる「近代性」
の時代であっても、劇文学と先駆的な
演劇作業の両面において、フランス演
劇は、伝統を再検証しつつ、新しい地平
を切り拓いてきました。

今回の企画は、そうした「フランス演
劇の過去と現在」を検証する一つの
きっかけにもなるようにと、コメディ
=フランセーズの舞台上演や、演劇の
地方分化の輝かしい冒険であった南仏
アヴィニオン演劇祭のアーカイブ資料
に基づく映像とその分析、あるいは新
進のフランス人演出家と日本の演劇人
との共同作業、映像とトークによる日
本におけるフランス演劇受容の歴史の
分析等、多角的な《視座》を提供しよ
うとするものです。

この企画は、われわれにとっても、舞
台芸術の作業と研究の両面で共同作業
の輪を拡げて行くために、一つの出発
点にすぎません。

皆様にとってもそれが、皆様の舞台
芸術に対する発想や思考や行動の出発
点ともなれば、新たに共有し得る《期待
の地平》が拓けるに違いないと信じて
います。

舞台芸術研究センター所長

渡邊守章

主催—京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

『アヴィニョン演劇祭の60年』
上映会

講師:ベルナル・フェブル=ダルシエ
(アヴィニョン演劇祭元芸術監督)
渡邊守章(舞台芸術研究センター所長)

2009年6月26日(金)

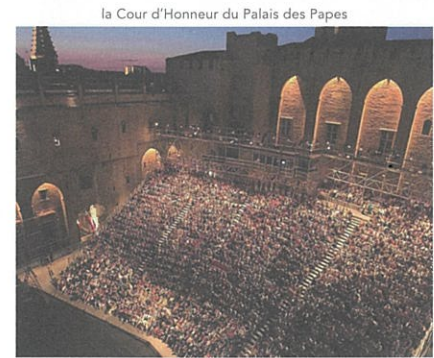
18:00 開場は開演20分前予定

会場—京都造形芸術大学 映像ホール

料金—無料 ※要事前申込

アヴィニョン演劇祭(Festival d'Avignon)は、1947年にフランス演劇界の革新者、ジャン・ヴィラルールによって創設され、演劇の地方分化運動の出発点となったもので、エディンバラ演劇祭と並びヨーロッパでもっとも伝統のある舞台芸術フェスティバルです。開催期間中(毎年7月/3~4週間)は、国内外から10万人を超える観客が南仏の古都アヴィニョンに集まります。

1979年から1984年、そして1993年から2003年と2期に渡って、アヴィニョン演劇祭の芸術監督を務めたベルナル・フェブル=ダルシエ氏を迎え、講演会を行います。また、この演劇祭の60周年に際して、それまでの貴重な映像資料をもとにつくられた映画を、渡邊守章の日本語解説を交えてお届けします。



la Cour d'Honneur du Palais des Papes

Christophe Raynaud Delage pour le Festival d'Avignon

◎プログラム

『アヴィニョン演劇祭の60年』
—名譽の中庭/戦いの場—

2006年/75分/字幕なし/日本語解説つき
監督:ミシェル・ヴィオット、
ベルナル・フェブル=ダルシエ

ベルナル・フェブル=ダルシエ氏講演
(日本語逐次通訳あり)
司会:渡邊守章

協賛—



L'INSTITUT
東京日仏学院



関西日仏学館
INSTITUT
FRANCO-JAPONAIS
DU KANSAI



協力—日仏演劇協会

コメディ=フランセーズ・プレゼンツ

『神の曲芸師』

作: ダリオ・フォー
演出: クロード・マチュー
出演: ギョーム・ガリエンス
(コメディ=フランセーズ正座員)

2009年6月30日(火)

18:30 開場は開演20分前予定

会場—京都芸術劇場 studio21

料金(全席自由/字幕あり)—

一般 2500円(当日3000円)
学生&ユース 1500円(当日2000円)
友の会 2000円(当日2500円)



無礼な言動はすぐさま火刑場ゆき。
そんな13世紀イタリアにおいて、自由で、信念の男フランチェスコは、みすばらしい仲間たちと共にウンブリア州を巡る。その道中にて、彼は数々の教会を再生させ、狼と交渉し、鳥たちに話しかけ、下品な言葉で福音書を語ってみせる。陽気さとかいかいでもって、アッシジのフランチェスコは野次馬たちを惹きつけ、彼らを楽しませ、感動させながら、金銭や権力、人心操作、苦悩、そして戦争を告発してゆく。

政治的かつ民衆的な演劇の最重要人物の一人として知られるダリオ・フォーは、「中世の道化師たちの伝統において、権力を糾弾し、恥辱を受けた人々の尊厳を回復させた」ことで、1997年にはノーベル文学賞を受賞しました。
コメディ=フランセーズの奔放な想像力が、この滑稽で奥深いテキストを鮮やかに演出します。

『ブラスティッド』

作: サラ・ケイン
演出: ダニエル・ジャンスト
出演: 阿部一徳、大高浩一、布施安寿香
企画・製作: SPAC 静岡県舞台芸術センター

2009年7月11日(土)

14:00

会場—京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—

一般 3500円
学生&ユース 1500円
友の会 3000円

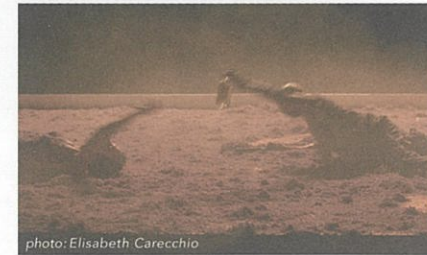
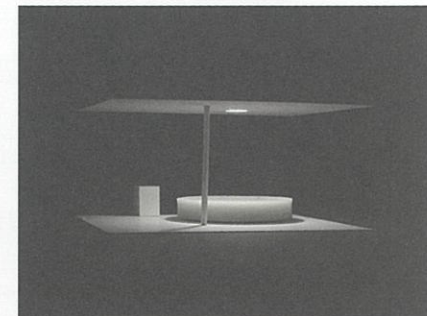


photo: Elisabeth Carecchio

破壊され尽くした世界。
しかもなお、崩壊することを止めようとしないこの世界。

レイプとカニバリズムの描写で一大スキャンダルとなったサラ・ケインの代表作『ブラスティッド』は、この世の悲惨さをも根こそぎ破壊しつつ、それでも残る、〈愛〉の可能性をめぐって、静かに大地を漏らす慈雨のように、そっと私たちに向かって問いかけてくる。

イギリスの高級ホテルの一室にやってくる中年のジャーナリスト、イアンと連れの若い女性ケイト。暴力だけが唯一の対話であるかのような二人の世界が、やがて爆風とともに一変し、おびただしい灰と瓦礫の中に埋もれてゆく。

舞台美術家としても著名な演出家ダニエル・ジャンストは、現代の古典ともなりつつあるこの作品を、洗練された舞台装置と綿密な解釈で2005年に演出し、「ル・モンド紙」などで絶賛を浴びています。
※劇中、過激な暴力描写がありますので、あらかじめご了承下さい。

公開講座 映像+トーク 2009-2010

渡邊守章の仕事「テキストと身体」—その演出作品を通して 後期

2009年10月—

会場—
京都芸術劇場 映像ホール

料金(全席自由)—
無料 要事前申込み

2009年10月6日(火) 18:00(予定)

マルグリット・デュラス作『アガタ』
ゲスト—小林康夫、

2009年10月27日(火) 18:00(予定)

泉鏡花作『天守物語』
ゲスト—佐伯順子(予定)

詳しい内容が決まり次第、
京都芸術劇場HPに掲載いたします。

「テキストの演出」の新しいアプローチとして、〈台詞〉と〈身体〉と〈舞台空間〉の関係を実験的に追及してきた渡邊守章の舞台は、自身の翻訳台本を作成しつつ独自の世界を切り拓いてきました。このシリーズでは、渡

邊守章演出作品の記録映像を見ながら、毎回ゲストを招き「テキストと身体」のかかわりや「身体性のある言語」の創出のプロセスを追ひ、それらの議論を通じて舞台芸術の映像化の問題を考えていきます。



「アガタ」photo:古堀田清

主催—
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

『路上1・2・3』 作・演出—川村毅 主演—小林勝也

2009年7月3日(金)—5日(日)

会場—
京都芸術劇場 studio21

料金(全席自由)—
一般 2500円(当日2800円)
学生&ユース 2000円(当日2300円)
中・高校生 1000円(前売/当日共)
友の会 2000円(当日2300円)

◎お得な『路上1・2・3』セット券(前売/当日共)

一般 5000円
学生&ユース 4000円
中・高校生 2500円

主催—
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
ティーファクトリー

すがぼんパントマイム・ワークショップ

2009年7月5日(日) 終演後
会場:京都造形芸術大学内 参加費:1000円
定員:先着20名
※定員を超えた場合は見学参加可能(見学参加費500円)
※詳細はお問い合わせください。
【お申し込み】
京都芸術劇場チケットセンター
tel.075-791-8240



photo:須藤考之

『路上1』
2009年7月3日(金) 17:00/19:00開演(2回公演)
出演—堤満美、真栗田貴豊、連木綿子
演劇助手—山本志保
※オーディションによる舞台芸術学科三回生キャスト・スタッフ

『路上2』
2009年7月4日(土) 18:00開演
出演—すがぼん、終アリス、山崎美貴、伊澤勉、森耕平

『路上3』
2009年7月5日(日) 15:00開演
出演—蘭妖子、中村崇、藤側宏大、笠木誠、荘田由紀、
すがぼん、終アリス、山崎美貴、伊澤勉、森耕平

『路上』は劇作家・川村毅とベテラン俳優・小林勝也のあいだで、遊び心に富んだ小品を年に1回上演しようという企画です。
『路上1』は2007年新宿の小さな地下劇場SPACE雑遊にて初演。『路上2』は「ことばとからだ」をテーマにして、パントマイムのすがぼん、ダンサーの終アリスが参加、せりふと身体表現が奏でる舞台を作り上げました。今年の新作『路上3』は「ことばとうた」をテーマに、寺山修司の「天井桟敷」で看板女優として活躍していた伝説の歌姫・蘭妖子が出演し「形而上的スラプスティック(スラプスティック=ドタバタ喜劇)」、なんとも形容しがたき笑いの世界が創出されます。
「1」・「2」・「3」を新宿、京都で一挙上演。また、「1」の京都での上演は、俳優・小林勝也と京都造形芸術大学の学生たちがワークショップを行い共演します。

立川志の輔 独演会 in 京都

2009年9月12日(土)
14:00

会場—
京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—
一般 4000円
シニア 3600円
友の会 3200円
学生&ユース席 1000円
※学生&ユース(25歳以下)は座席範囲指定あり

主催— 京都造形芸術大学

TVやCMでもおなじみの落語家・立川志の輔が春秋座にやってきます!

独自の視点で現代を語り、古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込む、氏ならではの「志の輔らくご」を展開。定期公演も含め年間150本以上の落語会を開催し、2006年1月には渋谷パルコ劇場にて「志の輔らくご in パルコ」が10周年を迎え、1ヶ月公演を成功させました。また文楽や狂言とのコラボレーションや英語落語など、新感覚の落語は各界からの注目を常に浴びています。

さらに昨年、新作落語「歓喜の歌」が映画・ドラマ化され話題に。

京都の地でどんな噺が飛び出すのか、乞うご期待!

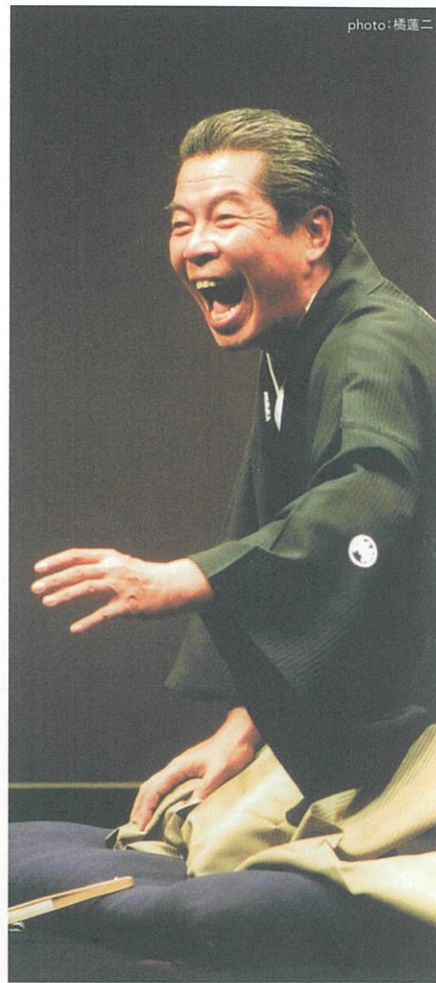


photo:橋通二

地点第17回公演

あたしちゃん、行く先を言って —太田省吾全テキストより—

2009年9月8日(火)—13日(日)

8-10日 19:30
11日 15:00/19:30(2回公演)
12日 17:00
13日 15:00
受付は開演60分前、開場は開演15分前

会場—
京都芸術劇場 studio21

料金(全席自由・整理番号付)—
一般 3000円(当日3500円)
学生 2500円(当日3000円)
※学生&ユース(25歳以下)は身分証明書提示

主催— 地点
共催/共同製作—
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター



『桎の園』(2008上演) photo:青木司

演劇の新しい境地を見出した劇作家・演出家の故・太田省吾。

本公演は戯曲の他にも数々の演出論・エッセイを著してきた氏の全てのテキストを対象に抜粋・再構成を行い、5月京都・7月川崎でのワークインプログレス公演を経ての上演となります。

自らの手による台詞さえ舞台上で奪う、前人未踏の〈沈黙劇〉を生み出した太田の言葉を用い、現代劇において舞台上で台詞を言うこと(発語)はいかにして可能か、拠って立つところを持たない(私)とそのような今日の状況における演劇とはなにかを考える、「地点」の最新作です。

構成・演出— 三浦基

出演—
安部聡子 石田大 大庭裕介 窪田史恵
小林洋平 谷弘恵

【お問合せ】 地点 tel.075・496・8673

舞台芸術研究センター主催 研究会 ダンス 研究と実験 vol.2 2009 土方巽～言葉と身体をめぐる

2009年6月20日(土)

15:00— 『夏の嵐』上映
(出演:土方巽ほか/企画・監督:荒井美三雄/上映時間:71分)
16:30—19:30 公開研究会

会場— 京都造形芸術大学 映像ホール
料金— 無料(定員100名/予約優先)
主催— 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

公開研究会 パネリスト:
第一部 研究報告 宇野邦一(フランス文学・思想)、
1) 宇野邦一 國吉和子(舞踊研究・批評)、
「剥がれた体の薄い深淵図」 田中弘二(土方巽研究)、
2) 國吉和子 松田正隆(劇作・演出)、
「向こう側の目玉について」 三浦基(演出)、
3) 田中弘二 八角聡仁(批評)、
『舞踏の欲望』について 森山直人(演劇批評)、
山田せつ子(コレオグラフィアー・ダンサー)
第二部「ディスカッション」

バリ芸能「スダマニ&ウロツテノヤ子」公演 ～古典的ガムラン演奏・伝統舞踊・新作影絵～

2009年8月15日(土) 17:00

会場— 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—
一般 3000円
シニア 2700円
友の会 2500円
学生&ユース席 1000円
※学生&ユース(25歳以下)は座席範囲指定あり

主催— 京都造形芸術大学

今年もインドネシア・バリからアーティスト達が春秋座にやってきます!今回はバリ芸能の未来を担う最先端の芸能集団としてバリ・海外でも注目されている「スダマニ」と日本で唯一のプロバリガムラングループ「ウロツテノヤ子」がコラボレーションします。



江戸糸あやつり人形芝居 結城座古典公演

2009年10月3日(土) 14:00

会場— 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—
一般 4000円 学生&ユース席 1500円
シニア 3500円 ※学生&ユース(25歳以下)は座席範囲指定あり
友の会 3200円

主催— 京都造形芸術大学

演目—
江戸糸あやつり人形解説
本朝廿四孝 奥庭鬼火の段
綱館

寛永12年(1635年)に旗揚げし、日本唯一の伝統ある糸あやつり人形劇団『結城座』。今公演は「古典公演」と銘打ち、2作品をお送りいたします。糸でつなぐ歴史と尖鋭の表現世界をどうぞお楽しみ下さい。



～青い地球をまもる、緑の葉っぱたち～ ミュージカル 「葉っぱのフレディ」～いのちの旅～

2009年8月12日(水) 14:00

会場— 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—
一般 5000円
シニア 4500円
友の会 4000円
ペア券 8000円
学生&ユース席 2000円
※学生&ユース(25歳以下)は座席範囲指定あり

主催—
京都造形芸術大学
葉っぱのフレディ・プロジェクト
出演—
宝田明、
ジュニアキャスト22人
(公募オーディションにより選出)



京都芸術センター舞台芸術賞2009 大橋可也&ダンサーズ

2009年9月18日(金) 19:00
19日(土) 15:00

会場— 京都芸術劇場 studio21

料金— 2000円(前売/当日共)

主催— 大橋可也&ダンサーズ

「演劇計画」は2004年度より始まった、京都芸術センターで舞台芸術作品を生み出す長期的視野に立ったプロジェクト。キャリア・ジャンルに関わりなく、次代の舞台表現を切り開く上演の担い手を発掘し、今後の活動をサポートするため「京都芸術センター舞台芸術賞」を実施。昨年度は5名のノミネート演出家を選出し、そのうちの一人、大橋可也演出作品を当劇場にて上演いたします。



京劇青少年劇場2009 〈北京京劇院訪日公演〉 日本語電光字幕付

2009年10月24日(土) 16:00

会場— 京都芸術劇場 春秋座

料金(全席指定)—
一般 3500円
シニア 3200円
友の会 3000円
学生&ユース席 1000円
※学生&ユース(25歳以下)は座席範囲指定あり

主催—
財団法人日本青少年文化センター
読売新聞社
京都造形芸術大学

演目—
武松打店/活捉三郎
(『水滸伝』より)
関羽と白猿(『三国志外伝』より)



6月
9日(火) 16:30 映像ホール
京都におけるフランス演劇月間 関連企画
公開講座 映像+トーク2009-2010
渡邊守章の仕事「テキストと身体」
—その演出作品を通して

16日(火) 19:00 春秋座
公開講座 現代最高の鬼才ピアニスト
アファナシエフ氏を迎えて
～詩とピアノのタペ～

20日(土) 15:00 映像ホール
ダンス 研究と実験 vol.2 2009
土方巽～言葉と身体をめぐって

21日(日) 14:00 春秋座
韓国芸術総合学校提供による『恵慶宮洪代奉壽堂遺宴』
「星に届いたため息」

22日(月) 春秋座
日本芸能史 日本舞踊
実演:坂東温子(聞き手 田口章子)

23日(火) 17:00 映像ホール
京都におけるフランス演劇月間 関連企画
渡邊守章による大学院公開講座
『「古典と伝統」一日仏間の舞台芸術の
受容について』[映像とトーク]

26日(金) 18:00 映像ホール
京都におけるフランス演劇月間
『アヴィニオン演劇祭の60年間』上映会

24日(水) 18:30 春秋座
アトリエ・ダンカンプロデュース
『鴨川ホルモー』

27日(土) 15:00 春秋座
三つの芸能で楽しむ
『お軽・勤平』

29日(月) 春秋座
日本芸能史 朝鮮通信使と芸能
理論:仲尾宏

30日(火) 18:30 studio21
京都におけるフランス演劇月間
コメディ=フランセーズ・プレゼンツ
『神の曲芸師』

29日(月) 春秋座
日本芸能史 朝鮮通信使と芸能
理論:仲尾宏

30日(火) 18:30 studio21
京都におけるフランス演劇月間
コメディ=フランセーズ・プレゼンツ
『神の曲芸師』

7月
3日(金) 17:00 / 19:00 studio21
4日(土) 18:00
5日(日) 15:00
路上1・2・3

4日(土) 16:00 春秋座
表象文化論学会第4回大会開催記念
京舞 井上八千代

6日(月) 春秋座
日本芸能史 唐人踊り
実演:牛頭天王社(解説 和田佐喜男)

7日(火) 16:30 映像ホール
京都におけるフランス演劇月間 関連企画
公開講座 映像+トーク2009-2010
渡邊守章の仕事「テキストと身体」
—その演出作品を通して

11日(土) 14:00 春秋座
京都におけるフランス演劇月間
『プラスチック』

18日(土) 14:00 春秋座
第8回 響きeyeコンサート

8月
12日(水) 14:00 春秋座
ミュージカル
『葉っぱのフレディ』～いのちの旅～

15日(土) 17:00 春秋座
パティ芸人「スダマニ&ウツツノヤシ」公演
～古典的ガムラン演奏・伝統舞踊・新作影絵～

8日(火)～10日(木) 19:30 studio21
11日(金) 15:00 / 19:30(2回公演)
12日(土) 17:00
13日(日) 15:00
受付は開演60分前、開場は開演15分前

12日(土) 14:00 春秋座
「立川志の輔 独演会 in 京都」

18日(金) 19:00 studio21
19日(土) 15:00
京都芸術センター 舞台芸術賞2009
大橋可也&ダンサーズ

22日(祝・火) 予定 春秋座
Breath Passage 2009
高橋悠治・姜泰煥・田中浪・大友良英
インプロヴィゼーション・コンサート

23日(水) 17:00 春秋座
24日(木) 13:00 / 17:00
25日(金) 13:00
松竹大歌舞伎 近松座公演

23日(水) 14:00 春秋座
ミュージカル
『葉っぱのフレディ』～いのちの旅～

松竹大歌舞伎 近松座公演(演目・出演)
一、坂田藤十郎お目見得 御挨拶
二、恋飛脚大和往来
玩辞楼十二曲の内 封印切
三、連獅子

27日(日) 1部 12:00 2部 17:30 春秋座
次世代のための伝統芸能鑑賞会

3日(土) 14:00 春秋座
江戸糸あやつり人形芝居
「結城座古典公演」

5日(月) 春秋座
日本芸能史 総論 韓国の祭礼
諏訪春雄

10日(土) 16:00 春秋座
11日(日) 13:00
勉誠会 第2回リサイタル

15日(木) 9:50 春秋座
左京南支部PTAコーラス交歓会
学童音楽会

19日(月) 春秋座
日本芸能史 韓国の門付け芸
理論:朴銓烈

24日(土) 16:00 春秋座
京劇青少年劇場2009
〈北京京劇院訪日公演〉

26日(月) 春秋座
日本芸能史 日本の門付け芸 尾張万歳
実演:北川幸太郎

27日(日) 1部 12:00 2部 17:30 映像ホール
京都におけるフランス演劇月間
公開講座 映像+トーク2009-2010
渡邊守章の仕事「テキストと身体」
—その演出作品を通して 後期

10月6日(火) 18:00(予定)
マルグリット・デュラス作『アガタ』
10月27日(火) 18:00(予定)
泉鏡花作『天守物語』

10月6日(火) 18:00(予定)
マルグリット・デュラス作『アガタ』
10月27日(火) 18:00(予定)
泉鏡花作『天守物語』

京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240
営業:平日10:00-17:00・公演開催日